



挑戦の先にある輝き

長い夏休みが終わり、新しい仲間を迎えて、いよいよ2学期がスタートしました。学校に子供たちの元気な声が戻り、校舎には再び活気があふれています。保護者の皆様におかれましては、夏季休業中もお子様の健康管理と安全確保にご協力いただき、誠にありがとうございました。

2学期は、本校最大の行事の一つである文化祭が開催されます。今年の文化祭スローガンは、「群抜流星 ～一瞬の輝き、一瞬のキセキ～」です。

一人一人が自分らしく輝きながら、仲間と力を合わせ、一瞬一瞬を大切に積み重ねていくことで、思い出に残る「キセキ」をつくり上げてほしいと願っています。

また、11月には創立50周年記念式典も予定されており、本校にとって大変意義深い2学期となります。

この夏休み期間中、体育館では、様々な改修工事が行われました。ステージの新調や緞帳・幕の張り替えに加え、天井照明もすべてLEDへと交換されました。明るくなった体育館は、文化祭や50周年記念式典をはじめ、子供たちの様々な活動の舞台として、これからますます活躍してくれることでしょう。

このLEDとは、「Light Emitting Diode」の頭文字を取ったもので、日本語では「発光ダイオード」と呼ばれます。省エネルギーで長寿命という特徴をもち、現在では私たちの生活に欠かせない存在となっています。

ところで、電気照明と聞いて、多くの人が思い浮かべるのは「電球」ではないでしょうか。その実用化に大きく貢献した人物が、「発明王」と呼ばれるトーマス・エジソンです。

電球には、電流を流すことで光を放つ「フィラメント」という部品があります。しかし、初期のフィラメントはすぐに燃え尽きてしまうため、長く使える素材を見つけることが最大の課題でした。エジソンは、金属や紙、糸、コルク、葉の筋、さらには友人のひげまで、ありとあらゆる素材で実験を重ねたと言われています。

その試行錯誤の数は約6000回。数え切れない失敗を繰り返した末にたどり着いたのが「竹」でした。そして、その中でも特に優れた結果を示したのが、日本の京都産の竹であったそうです。

エジソンには有名な言葉があります。

I have not failed.

I've just found 10,000 ways that won't work.

「私は失敗したことがない。うまくいかない方法を1万通り見つけただけだ。」

失敗を失敗で終わらせず、次の挑戦への学びとして捉える姿勢には、大いに学ぶべきものがあります。

歴史に名を残した多くの人々も、成功の陰には数え切れない失敗があったことを語っています。皆さんも御存知だと思いますが、私が好きな言葉を紹介しますので、是非お子さんと読んでいただきたいと思います。

「私は、キャリアを通じて9000回以上シュートを外し、300試合に敗れ、決勝シュートを任されて26回も外しています。人生で何度も何度も失敗したからこそ、今の成功があるのです。」

(マイケル・ジョーダン)

「人生における最大の名誉は、決して倒れないことではない。倒れるたびに起き上がることである。」

(孔子)

「失敗したことのない人間というのは、挑戦したことのない人間である。」

(アルベルト・アインシュタイン)

「PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気をもった者だけだ。」

(ロベルト・バジジオ)

「神様は、私たちに成功して欲しいなんて思っていません。ただ挑戦することを望んでいるのです。」

(マザー・テレサ)

挑戦に失敗はつきものです。しかし、その失敗こそが成長の糧となり、新たな発見や学びにつながります。

日々の学習活動に加えて、文化祭に向けての取組や50周年記念事業など、2学期には多くの挑戦の場があります。

うまくいくことばかりではないかもしれませんが、しかし、失敗を恐れずに一歩踏み出し、仲間と支え合いながら挑戦を続けることで、一人一人が大きく成長できるはずです。

本校の教育目標である「自ら学び、心豊かにたくましく 国際社会を生き抜く児童生徒の育成」は、このような挑戦と学びの積み重ねによって実現されます。

子供たちが失敗を恐れず挑戦し、うまくいかなかった経験からも大切なことを学べ

るよう、安心して取り組める環境づくりを進めてまいります。

そして、様々な挑戦の積み重ねを通して、自分で考え行動することで「自立」を、仲間のために力を発揮することで「貢献」を、認め合える仲間に誇りを感じることで「気品」を、体現してもらいたいと願っています。

これからの学校生活が、子供たち一人一人にとって、多くの挑戦と学びに満ちた日々となるよう教育活動を進めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。